

地域のしあわせをみんなで築く

# 秋田市地域福祉計画

平成16年4月、新しい道しるべのスタート 「建都400年 そして市民協働・地域分権元年」

(1)

(2)



2004年は、佐竹義宣公が久保田城入城を果たし、秋田の地でまち割り(現代風にいえば都市計画)を手がけてからちょうど400年にあたります。

「福祉」とは「しあわせ」のこと  
「地域福祉」とは「地域のしあわせを、みんなで築いていくこと」

では、「しあわせ」とはいったい何なのでしょう  
それは、「心が満ち足りていること」です

「福祉」とは「しあわせ」のこと  
「地域福祉」とは「地域のしあわせを、みんなで築いていくこと」

みんなで、が大事  
そう、「地域福祉」の主役は、わたしたちみんなです

自分たちの住むあきたのまちに、  
そして、そこに暮らす人たちに、  
みんなで、ほんのちょっとした思いやり・・・

みんなのちょっとしたが集まれば、  
しあわせはさらに大きくふくらみます

人と人とのあたたかい関係、地域社会の絆を、  
これからもずっとずっと大切にしていきたいものです

## 地域福祉の基本用語

### (1) 市民協働

市民同士、また、市民と行政が対等の立場で、お互いが持つ資源や能力を活用して、共通の目的達成のために協力して活動すること。

### (2) 地域分権

行政機能の本庁集中化による課題を解消して、都市としての一体性を保ちながら、市民の日常生活に密着した住民サービスは、市民に身近な地域で提供できるようにすること。さらには、住民自治の充実により、「地域の課題は地域で解決」ができるような仕組みを構築していくこと。

我が国では、**少子・高齢化(検証1)**が世界に類を見ない速さで進行するとともに、都市化や核家族化などによって、社会を取り巻く環境が大きく変化しています。こうした中で、社会にはたくさんの歪みが生じていますが、この要因のひとつとして、中央集権的な全国一律のルールや考え方が、多様化する時代にそぐわなくなったということがあげられます。

順調な経済成長の時代には、「福祉<sup>3)</sup>」の分野においてもサービスの拡大が難しいことはありませんでした。しかし、いまは「ゼロ成長」、さらには「マイナス成長」の時代です。それにもかわらず「もっと、もっとサービスを」

と叫び続けることは、多くの負担を将来世代へ回してしまう危険性をはらんでいます。

右肩上がりの経済成長が終わりを告げたことをしっかりと認識し、これからますます進展する少子・高齢社会を見据え、いまこそ、「行政」と「地域」と「市民一人ひとり」が力を結集するときです。そのためのひとつの取り組みが、「地域福祉<sup>4)</sup>」の推進であり、「支え合い・助け合い」への不断の努力こそが、将来にわたって良好な地域関係・人間関係をつくりあげていく大きな力になると考えます。

ここに策定した「秋田市地域福祉計画」はゴールなのではなく、あくまでもス

タートです。まずは、「地域福祉」という考え方を、みんなでしっかりと共有することが最初の目標です。そして、進捗状況のチェックも、計画の見直しも、市民のみなさんの**参加・参画(検証2)**によって、協働作業で進めていきます。

21世紀は**地方の時代(検証3)**といわれています。河辺・雄和両町との合併も見据え、市民の「しあわせ」の実現と本市のさらなる飛躍に向けて、秋田市としても最大限の努力をしていきます。市民のみなさんにおかれても、この「秋田市地域福祉計画」の策定を契機として、市政や市民活動への積極的な参加・参画をお願い申し上げます。

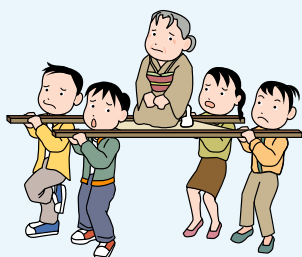
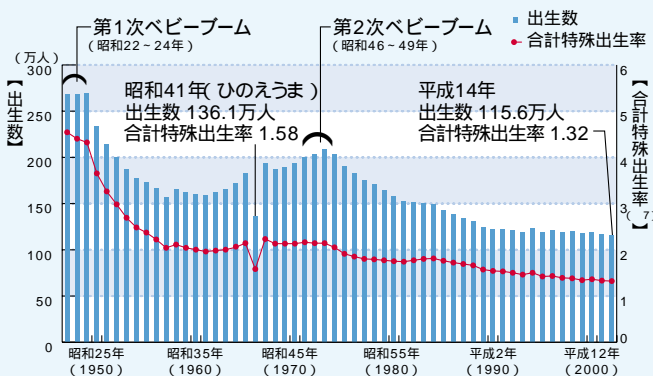
## ...検証1... 少子・高齢化

### 「高齢化社会<sup>5)</sup>」から「高齢社会<sup>6)</sup>」までのスピード比較

国名	65歳以上人口割合		7%から14%への期間
	高齢化社会到達年	高齢社会到達年	
日本	1970年 (昭和45年)	1994年 (平成6年)	24年
イギリス	1930年	1975年	45年
ドイツ	1930年	1975年	45年
アメリカ	1945年	2015年	70年
スウェーデン	1890年	1975年	85年
フランス	1865年	1995年	130年

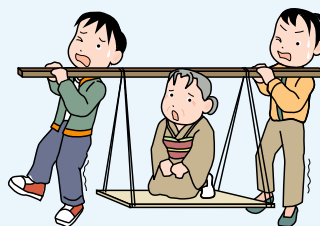
日本は高齢化のスピードが世界一

### 高齢化を一層進める出生数の低下



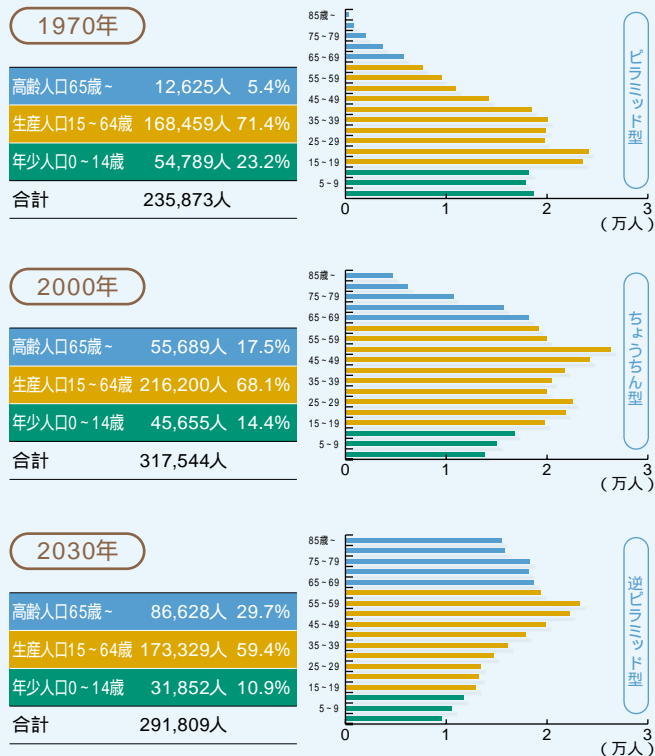
2000年 高齢者1人に対して生産人口4人

30年で「みこし」から「かご」へ



2030年 高齢者1人に対して生産人口2人

### 秋田市の人口構造の推移



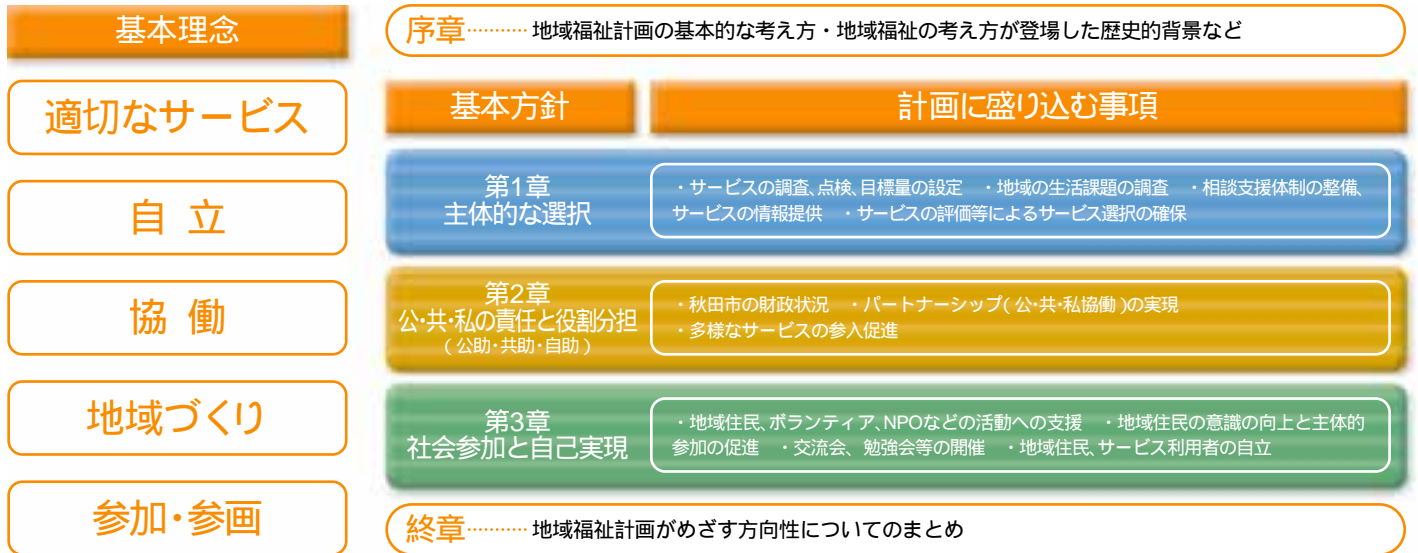
## 地域福祉の基本用語

<sup>3)</sup>「福祉」=「しあわせ」

広辞苑によると、幸福、消極的には生命の救済、積極的には生命の繁栄とあります。私たちは福祉というと消極的なイメージを持ってしまいがちですが、本計画では、積極的なイメージを大切に、「福祉」=「しあわせ」と考えることとします。そして、「市民福祉」=「市民のしあわせ」という観点から、市民生活全般を視野に入れた計画とします。

<sup>4)</sup>「地域福祉」=「地域のしあわせを、みんなで築いていくこと」

「地域福祉」の主役は、私たち市民一人ひとりであり、私たち一人ひとりの手による、しあわせを実感できるような住みよい社会づくり、住みよいまちづくりに向けての取り組みが「地域福祉」ということともいえます。



…検証2… 市民の参加・参画

できるだけ多くの市民のみなさんから、地域福祉計画の策定に参加・参画していただくために、「ワークショップ(協働作業による、学びの場)」を実施しました。

平成15年度は、市内36地区で全部で67回開催し、延べ1,753人から参加していただきました。いただいたご意見は、右のとおりで、計画づくりに大いに参考になりました。

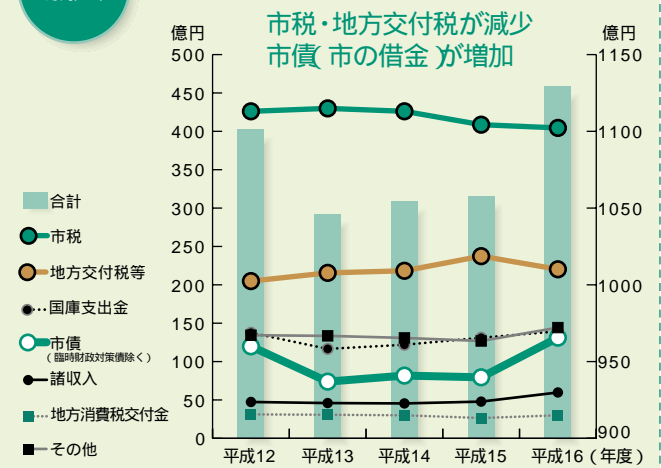
ワークショップは、16年度以降も継続して実施しますので、どうぞご参加ください。



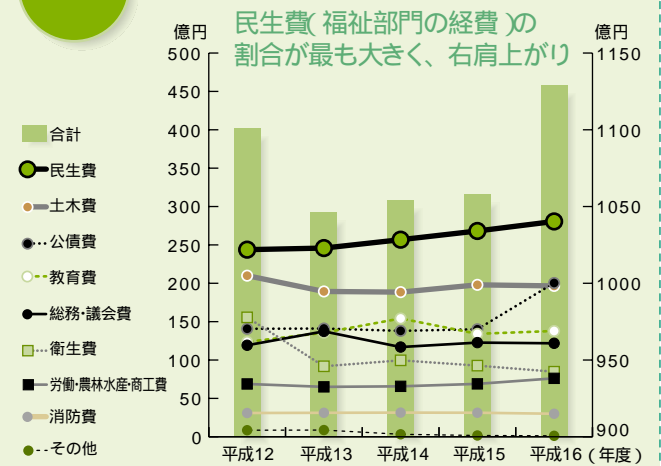
新屋勝平地区のワークショップ

分野	件数
健康・年金・医療	97
子ども・子育て・教育	119
高齢者・介護	231
障害者	21
町内会・地域活動	305
まちづくり	331
環境	147
防災	43
情報提供	44
ボランティア	27
その他・暮らし一般	188
合計	1,553

歳入



歳出



…検証3… 秋田市の財政状況(一般会計)

いわゆる「三位一体改革<sup>(8)</sup>」の推進により、地方の権限が大幅に拡大されることになりましたが、歳入面では、長引く景気の低迷による税収の落ち込みや、国からの地方交付税の縮減などにより、財源の確保は非常に難しい状況にあります。

一方、歳出面においては、雇用情勢の悪化や高齢化の進展により、民生費(福祉部門の経費)が大きく伸びています。

今後も、適正な住民サービスを見極め、その重要性や緊急性に基づいた施策の選択をし、将来世代に責任の持てる財政基盤を確立していきます。

(5) 高齢化社会

総人口に占める65歳以上の割合が、7%を超える社会

(6) 高齢社会

総人口に占める65歳以上の割合が、14%を超える社会

(7) 合計特殊出生率

一人の女性が生涯に何人の子どもを産むかを示す数値。総人口が増えも減りもしない均衡状態の合計特殊出生率は、2.1だといわれています。

(8) 三位一体改革

地方分権を進めるにあたって、地方自治体の財政基盤や自立性の強化を実現するため、「国から地方への税源移譲」「国庫補助負担金の削減」「地方交付税の見直し」を一体的に行うこと。

## 地域福祉を推進するおもな施策

「市民協働」「地域分権」を実現するための新たな施策をご紹介します。

### ワークショップ

ワークショップ(協働作業による、学びの場)を継続して開催することによって、地域の実情に合った地域ごとの目標づくりなどが、市民の創意工夫で、主体的につくりあげられるようにしていきます。

### 市民活動の促進

「秋田市市民活動促進基本方針」に基づいて、市民活動の促進のための施策を検討・展開し、市民一人ひとりがあらゆる分野の市民活動に参加しやすい環境をつくります。

### 秋田拠点センター

秋田拠点センター「AI Ve(アルヴェ)」内に、「市民活動センター」や「子ども未来センター」などを設置し、市民と行政が協働を実現する場をめざしていきます。

### 行政評価システム

市民が行政サービスを納得して受けられるように、事業の目的や必要性、効果などの適否を判断するための、必要かつ十分な情報をわかりやすく提供します。

### 市民公聴条例

市の施策の企画・立案過程などで、市民の持つ多様な意見、情報、専門的知識などを提案・提供できる機会を保障する条例です。平成16年度中の制定を予定しています。

### 市民協働の推進

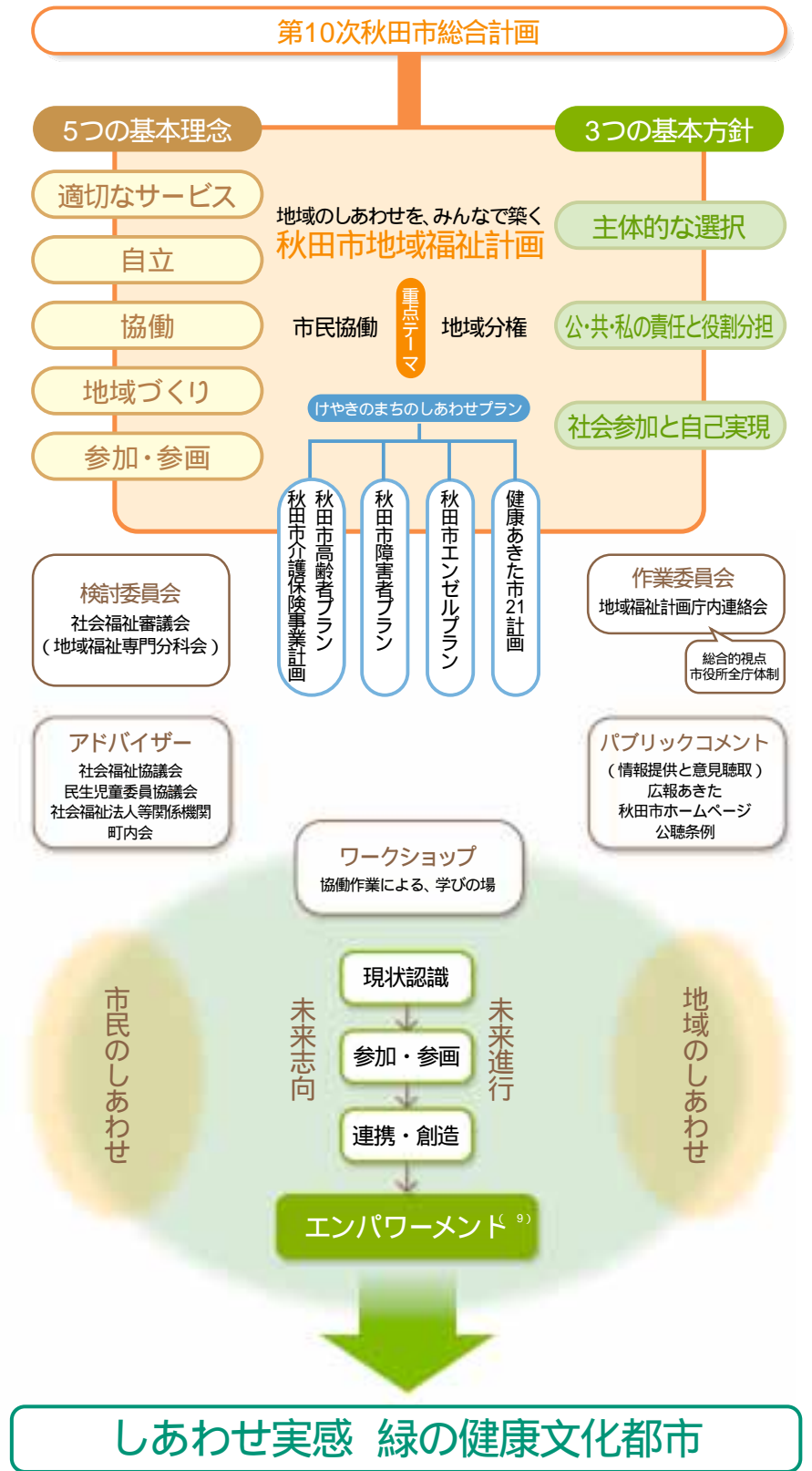
「自助・共助・公助」のバランスやあり方を見つめ直し、市民と行政のパートナーシップを構築していきます。

### 分権の推進

国・県と秋田市との関係を見つめ直し、市民の主体的な参加・参画によって、真の地方自治の確立をめざしていきます。

## 秋田市地域福祉計画がめざす方向性

地域福祉計画の策定によって、市民一人ひとり、さらには地域社会の「エンパワーメント<sup>(9)</sup>」をはかり、「市民協働」「地域分権」の社会づくりをめざします。そして、市政推進の基本となる、第10次秋田市総合計画の基本理念、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくこととします。



## 地域福祉の基本用語

<sup>(9)</sup> エンパワーメント (empowerment)  
自分の中に力をたくわえ、積極的な自己を作り出すことによって問題の解決に取り組み、社会的な決定力を獲得すること

【平成16年3月策定】

「秋田市地域福祉計画」全戸配付リーフレット

【編集・発行】

秋田市福祉保健部福祉総務課

TEL 018 866 2092 FAX 018 866 2417

http://www.city.akita.akita.jp/city/wf/mn/